

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業			事業番号	13-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部歴史文化推進担当	立花 実	教育総務課 歴史文化担当	立花 実	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	13	歴史・文化遺産の活用と継承	
予算事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成27年度	～	終了年度	—
関連法令等	文化財保護法、伊勢原市文化財保護条例				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市歴史文化基本構想		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・市域に所在する多くの文化財を紹介する常設展示施設が求められています。 ・地域活性化を進める上で、日本遺産を含む市域の文化財が有効な資源となっています。 				
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から寄贈を受けた土地・建物を有効活用し、市内外の人々に地域の歴史と文化財を公開する(仮称)郷土資料館としての整備に向けた検討を進めます。 				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び市への来訪者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の適正な維持、管理を進めます。 ・施設を利用して、市が所有する資料の活用に向けた整理作業を進めます。 				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	施設の在り方の検討	検討	検討		
	施設を利用した展示会等の開催	実施	実施		
施設維持・管理	実施	実施			
目 標	【指標名】	年度			
	【現状値】	令和3年度	令和4年度		
施設を利用した展示会等の開催件数	0回 (令和2年度)	1回	1回		



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	施設の老朽化が進んでいるため、日常的な管理を徹底し、修繕等の実施について、的確に判断していきます。展示会については、新型コロナウイルス感染症に対応した方策を検討するとともに、新たな層へ働きかける試行的な取組を実施する必要があります。また、本施設において実施している収集資料の整理作業については、計画的、継続的に実施していきます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	施設の在り方の検討	検討	
	施設を利用した展示会等の開催	中止	
	施設維持・管理	実施	
実施した取組の内容	施設の有効活用を図るため、市史編さん事業で収集した資料をはじめとする市所有資料の整理場所として活用を図りました。施設の維持については、適正な管理に努め、また、今後のあり方についての検討を行いました。しかし、施設を利用した文化財フェスタについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	施設を利用した展示会等の開催件数	0回 (令和2年度)	0回

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計 (a)		17	千円					千円	
	内訳	国県支出金 ①	0	千円					千円	
		地方債 ②	0	千円					千円	
		その他特財 ③	0	千円					千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	17	千円					0 千円	
	国県支出金の内容									
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.38	人	3,108	千円		人		千円
		その他の職員		人	0	千円		人		千円
		人件費合計 (b)	0.38	人	3,108	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)		3,125	千円					0 千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義	展示会・講座の参加者数		単位			単位	
			対象数	0	人					
総事業費 / 対象数				円				円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理については適正に実施しました。 展示会である文化財フェスタについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止としました。 市所有資料の整理作業については、会計年度任用職員を雇用し、計画どおり進めることができました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県内には市民からの寄贈施設を展示施設として利用している事例が少なく、他市との比較は難しい状況です。また、予定していた展示会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を中止しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 施設については利用価値が高いものの、個人の住宅であったことから利用方策には制約があります。新たに資料整理の場として活用し、利用の幅を広げました。 本市の公共施設等総合管理計画の見直しの中で、他の保管施設、整理施設と合わせて、ふさわしい施設の活用策を検討していくこととしました。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理については必要最低限の経費で対応しました。 市史編さん資料等、市所有資料の整理については、効率的に進めることができています。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理については、引き続き適正に管理していきます。老朽化も進んでおり、状況に応じた対処が必要となります。 施設の有効活用については、資料整理の場としての利用を進め、また、他の施設との機能統合を含めて検討する必要があります。
令和4年度の取組方針		<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に対応するため、日常的な管理に注意し、修繕等の実施については的確に判断していきます。 本施設において実施している収集資料の整理作業については、計画的、継続的に実施していきます。 他施設との機能統合も含め、効率的な施設のあり方を想定し、具体的な活用方法を検討します。 		
所管部長による総評		<ul style="list-style-type: none"> 施設を利用した市所有資料の整理作業については、今後も継続的に実施し、成果を資料の有効活用に結びつけていく必要があります。 伊勢原市公共施設等総合管理計画の見直しの中で、他施設との機能統合等を含め、文化財の保護に資する施設のあり方を検討していく必要があります。 		